

二条中学校便り

第 8 号

平成 18 年 7 月 2 1 日

京都市立二条中学校

有意義な夏休みを作ろう…ワンダータイム・イン・サマー'06

梅雨末期の大雨が続き、鴨川の水位も溢れそうなほど高くなっています。祇園祭も終り、明日 22 日からは夏季休業。今月 14 日の学年別懇談会では、約 100 名の保護者の方がご来校くださいました。学校からは、学校長挨拶のあと、小島生徒指導部長が現在の学校の様子や夏休みを迎えるにあたっての生活上の留意点などをお話しし、その後学年ごとの懇談に盛り上がりました。

夏休みを前に…学校長の言葉から…昨年度より「二期制」がスタートし、この制度での二年目の夏休みを迎えることとなります。従って皆さん方に知らされる成績は、前期を総括した評価ではなく、あくまでも前期の中間点の仮評定といえます。自分の成績をよく見て、教科ごとにそれぞれの観点のどこが優れ、どこが不十分だったかを確認してください。そして、明日からの夏休み期間に、自分の努力の足りなかった点を補充し、よくできたところをさらに伸ばす取組をしてほしいと思っています。

一方、保護者懇談会も夏休み前に 5 日間持ちました。皆さん方の学習を家庭で支えておられる保護者それぞれに、学習状況をできるだけ詳しくお伝えし、さらなる後方支援をお願いしています。

以上のように、夏休み前の準備万端が整ったところで一つ、皆さん方に学習案内のお知らせをしておきます。夏季休業中に各学年ごとの計画で、皆さん方の補充学習を支援する「学習相談日」を設定しました。「わからない学習内容をそのまま今後にもちこさない」ためにも積極的に活用してほしいと思います。また、「補充」と「発展」の内容を問わず、それぞれに教科の先生方に個別交渉することも可能ですので、各自で教科担任に相談してみてもいいでしょう。二条中学校の先生方は皆さん方の「学力の保障」と「学びの保障」のためには誰もが労を惜しまれません。

私自身もそんな皆さん方の「夏休み」をアドバイスするために、今年も「夏休みのしおり」の冒頭に「ワンダータイム・イン・サマー'06」という文章を書きました。助言の内容は私の「夏休み」に対する感想や思いであり、日本の風土や文化を思い浮かべながら書いています。

その中には、夏休みの計画作りの参考にしてもらえるようにとの思いから、今夏の私の計画も紹介しておきました。40 日足らずの夏休みも、出発時点では長く感じるものですが、始まればあっという間に過ぎてしまいます。自分自身の創意と工夫で有意義に過ごしてほしいと思います。そして、「知力と意力と体力」とを鍛錬してほしいのです。学習や部活動・生徒会活動以外に、「地域の行事」にも大いに参加し、自分づくりのシーズンにしてください。

15 日から次々に夏季大会が始まっています。水泳部では 3 年生男子が 200m 自由形で 5 位入賞。男子バスケでは春日丘に大差で一勝をあげました。女子テニスは 2 ペアが市内大会に勝ち残り、また団体戦にも臨みません。野球部は初回 4 点を取りさい先のよいスタートでしたが雨のため中断。続きが期待されます。3 年生の最後の公式戦となる夏季大会。どの部も練習の成果を出し切り、悔いの残らない試合に臨んでください。

